

# 実態に合わせ机上計算の対策だった！ 堀船水害

## そね前都議と区議団の究明で“人災”浮彫りに



7月5日夜の集中豪雨により石神井川が堀船で氾濫した水害問題で、そねはじめ前都議と日本共産党区議団は専門家の協力と調査で、水害が首都高速株式会社や東京都の説明する「想定外の事故」ではなく“人災”の側面が強いことを究明してきました。

8月27日、被害地域住民の「水害対策協議会」から原因究明と補償に向け対応を求める陳情が区議会に提出され、同じ27日、区議会の防災委員会による都庁担当者の聞き取りと質疑が行われました。

### 水害現場と「水理実験」に大きくいちがい

共産党は質疑のなかで首都高の水害対策の根拠とされてきた「水理実験」と現場は違っていたことを確認しました。

#### 氾濫個所の下流に据えられた工事用栈橋

水害時に溝田橋付近で二つの水路が開いていた状態も、下流の川幅を埋めるほどの栈橋構造（写真参照）の影響も「水理模型実験」ではなく、コンピュータ計算だけで「安全」と判断したものでした。

### 「水防計画」も実効性なし

さらに5年前の水害後に都の指導で見直したという「水防計画」の土のう積み計画も実際に氾濫した場所とかみ合わず“机上の計画”に過ぎなかったことが判明しました。

共産党区議団は、水害の実態は“人災”であり、5年前の水害の教訓を生かさなかった首都高とともに、管理監督を怠った東京都にも重い責任があることを強調しました。

## そねはじめ活動アルバム

### ○8月4日 桐ヶ丘都営団地再生説明会に参加

24年で5千戸の都営住宅を建替える壮大な再生計画もいよいよ後期。さがらとしこ区議と求めてきた2ヶ所めの特養ホームを都も検討を約束。一人ぐらし高齢者からは、介護のために家族が来られる二人分の間取りを希望する声が切実です。



### ○8月21日 木元区議地域後援会納涼つどいで報告

参院選の苦い教訓から学び、政治の激動の中でも来年の区議選には必ず躍進する決意を語りました。また木元区議のギター演奏でいっしょに歌いました。

### ○8月21日 平和のための北区戦争展を見学

2日間かけて北とぴあで平和団体などによる北区戦争展が開かれました。今年は劇団青年劇場の女優がベン・シャーンの第5福竜丸を題材にした絵本を朗読。5月のNPT会議参加者の記録映像など国際的な広がりアピールしていました。

